

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	文化振興課
職	課長
氏名	酒井 雅洋

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
本県には、藩政期以来培われてきた加賀百万石の伝統文化が今も息づくなど、多様で質の高い文化があふれている。この本県の優れた文化に一層磨きをかけ、県民共通の財産として次の世代へ確実に引き継いでいくとともに、新たな文化の創造に取り組んでいく必要がある。このため、文化振興施策の拠り所となる「いしかわ文化振興条例」を平成27年度4月より施行したところであり、今後、さらなる文化の高みと裾野の拡大を目指す取り組みを進めるとともに、文化の担い手である県民の文化活動を支援する体制の強化を図るなど、文化振興施策を効果的に推進していく。	

組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
①石川の優れた文化の継承・発展 ②文化に親しむ環境づくり ③文化の交流・発信					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	94,229	H26 年度	113,500	H29 年度	各施設の公演内容の充実、営業活動による貸館の利用促進により、入場者数を過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。
②兼六園周辺文化施設入館者数(5施設)※	629,163	H26 年度	813,000	H29 年度	各館の独自企画及び連携強化による誘客対策等により、過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。
③音楽堂入場者数	206,473	H26 年度	265,000	H29 年度	公演内容を充実することにより、過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。



27年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①石川の優れた文化の継承・発展	本県には、音楽、美術、演劇といった芸術のほか、藩政期以来培われてきた伝統芸能や伝統工芸、生活文化など、多彩な文化があふれており、これらの優れた文化を県民共通の財産として次代に継承し、さらなる発展につなげていく必要がある。このため、美術館や歴史博物館等の企画展の充実による芸術の振興や、「観能の夕べ」の開催による鑑賞機会の充実、「金沢芸妓の舞」をはじめとする発表の場の充実など、伝統芸能などの振興を図る。また、「いしかわ子ども伝統芸能チャレンジ推進事業」など子どもによる文化の継承に取り組む。さらに、文化活動で顕著な成果を収めた方や、文化の振興に貢献のあった若手・中堅の文化活動実践者への顕彰に努めていく。
② 文化に親しむ環境づくり	文化の振興にあたっては、全ての県民が文化に親しむことのできる環境づくりが大切であるため、県民の文化意識の向上を図るとともに、子どもや高齢者、障害者を含むあらゆる方々の文化に親しむ機会の充実と、文化施設の充実・活用促進に取り組む必要がある。このため、兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」と銘打って、四季折々に兼六園周辺文化の施設において文化イベントを開催したり、国内外のアーティストによる一流の演奏を気軽に鑑賞できる「ラ・フォル・ジュルネ金沢」の開催など県民が文化に親しむ機会の充実を図る。また、古典芸能やオーケストラなど優れた舞台芸術の鑑賞教室の開催により、子どもが文化に触れる機会の充実を図ったり、「障害者のための文化芸術ふれあい推進事業」により、高齢者や障害者等の文化活動の充実も図るなど、県民が幅広く文化活動を活発に行えるような環境づくりに取り組む。
③ 文化の交流・発信	本県に息づく本物の文化の魅力を、国内外に広めるとともに交流人口のさらなる拡大を図るため、文化を通じた交流や情報発信を積極的に推進する必要がある。このため、市町や文化施設、文化団体などと連携し、広く情報を収集・発信する。また、音楽堂で魅力ある多彩な自主事業を実施し、石川の音楽文化を発信するほか、歴史博物館と韓国全州博物館との姉妹館交流を充実するとともに、韓国国立博物館所蔵の優品を通じ紹介する大型特別展を開催するなど、県内外の人々と互いに理解を深めることができるよう文化に関する交流の促進に努める。